

- 問1 日本国憲法第14条で禁止されている「人種、信条、性別、社会的身分又は門地」による差別について、その目的や背景を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 能力や努力に応じた結果の差をなくし、すべての国民の所得や生活水準を強制的に同一にするため。 | 2. 多数派の意見を尊重し、少数派が社会の秩序を乱さないよう行動を制限する基準を設けるため。 | 3. 個人の努力では変えることができない属性や、内心の自由に関わる事柄で不利益な扱いをされないようにするため。 | 4. 国や地方公共団体が、特定の宗教や政党を支持する人々を優先的に保護する仕組みを作るため。 |
|--|--|---|--|
-
- 問2 日本国憲法第25条第2項では、生存権を保障するために国が果たすべき役割が定められています。その内容として正しいものを選びなさい。 (2024年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| 1. 国民が政治に参加するための選挙制度を適切に運用すること | 2. 個人の表現の自由や信教の自由を不当に制限しないこと | 3. 裁判を通じて個人の権利を救済するための制度を整えること | 4. 社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めること |
|--------------------------------|------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
-
- 問3 日本国憲法が保障する自由権のうち、住む場所を自由に選べる権利や、自分の意志で職業を選べる権利、財産権の保障などが含まれる分類として最も適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|------------|----------|
| 1. 精神の自由 | 2. 社会権 | 3. 経済活動の自由 | 4. 人身の自由 |
|----------|--------|------------|----------|
-
- 問4 人権思想の発展の歴史は、大きく3つの段階に分けることができます。18世紀の市民革命期、20世紀の社会問題への対応、そして第二次世界大戦後の国際的な取り組みの順に、それぞれの時期に確立された権利や概念を並べたものとして正しいものはどれですか。 (2023年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1. 人権の国際的保障 → 自由権 → 社会権 | 2. 自由権 → 人権の国際的保障 → 社会権 | 3. 自由権 → 社会権 → 人権の国際的保障 | 4. 社会権 → 自由権 → 人権の国際的保障 |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
-
- 問5 日本国憲法で保障されている自由権のうち、自分の意志で職業を選んだり、得た収入を私有財産として管理・所有したりすることができる権利の総称として、最も適切なものはどれか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|------------|----------|----------|
| 1. 社会権 | 2. 経済活動の自由 | 3. 身体の自由 | 4. 精神の自由 |
|--------|------------|----------|----------|
-
- 問6 社会権のなかでも、日本国憲法第25条において「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と規定されている、人間らしい生活を営むための最も基本的な権利は何ですか。 (2026年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------------|--------|----------|
| 1. 勤労の権利 | 2. 教育を受ける権利 | 3. 生存権 | 4. 労働基本権 |
|----------|-------------|--------|----------|
-
- 問7 日本国憲法には「知る権利」という言葉は直接書かれていませんが、どのような考え方を根拠に認められるようになったのでしょうか。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|---------------------|-----------------------|-------------------|
| 1. 日本国憲法第13条（幸福追求権） | 2. 日本国憲法第20条（信教の自由） | 3. 日本国憲法第14条（法の下での平等） | 4. 日本国憲法第25条（生存権） |
|---------------------|---------------------|-----------------------|-------------------|
-
- 問8 日本国憲法第16条で保障されている、国民が国や地方公共団体の機関に対して、損害の救済や法律の制定・廃止などの要望を平穩に伝えることができる権利を何といいますか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|--------|---------|
| 1. 団体交渉権 | 2. 直接請求権 | 3. 請願権 | 4. 知る権利 |
|----------|----------|--------|---------|
-
- 問9 日本国憲法第38条では、「何人も、自己に不利益な供述を強要されない」と規定されています。この、自分自身を罪に陥れるような発言を拒否できる権利を何といいますか。 (2020年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|------------|---------|
| 1. 証言拒絶権 | 2. 罪刑法定主義 | 3. 自己負罪拒否権 | 4. 令状主義 |
|----------|-----------|------------|---------|
-
- 問10 日本国憲法第38条では、「何人も、自己に不利益な供述を強要されない」と定められています。この規定に基づき、被疑者や被告人が取り調べや裁判において終始沈黙したり、回答を拒んだりすることができる権利を何といいますか。 (2024年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------------|--------|--------|
| 1. 請願権 | 2. 裁判を受ける権利 | 3. 受益権 | 4. 黙秘権 |
|--------|-------------|--------|--------|
-
- 問11 日本国憲法では個人の権利が最大限に尊重されていますが、他人の権利との衝突を調整し、社会全体の利益を確保するために、権利に対して必要最小限の制限が加えられることがあります。この、権利を制限する根拠となる原理を何といいますか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|------------|
| 1. 国民主権 | 2. 法の支配 | 3. 公共の福祉 | 4. 地方自治の本旨 |
|---------|---------|----------|------------|
-
- 問12 令状主義において、逮捕状などの令状を発行する権限が、逮捕を執行する警察官ではなく、裁判所の裁判官に与えられている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 事件の捜査にかかる費用や時間を、裁判官が管理・抑制することで、行政の効率化を図るため | 2. 専門的な法律知識を持つ裁判官が、警察官に代わって犯人の追跡や証拠収集を指揮するため | 3. 逮捕された被疑者が、その後の刑事裁判において必ず有罪になることをあらかじめ保証するため | 4. 捜査を行う機関とは別の独立した機関が判断することで、権力の濫用を防ぎ国民の身体的自由を守るため |
|---|--|--|--|
-
- 問13 日本国憲法において「基本的人権」は「侵すことのできない永久の権利」と表現されていますが、この言葉が示す性質について、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 公共の福祉のために必要がある場合であれば、国がいつでも自由に内容を変更できるという性質 | 2. 国民が選挙などを通じて政治に参加することで、初めて国から認められるという性質 | 3. 健康で文化的な最低限度の生活を営むために、国に対して積極的な助けを求めることができるという性質 | 4. 人間が生まれながらに持っている権利であり、国家権力であっても不当に侵害してはならないという性質 |
|--|---|--|--|
-
- 問14 日本国憲法では、個人の尊厳を守り人権を保障するために「法の支配」のしくみがとられています。このしくみのもとで保障される表現の自由について、インターネット上での誹謗中傷が他者の名誉毀損にあたるなど、他者の人権を不当に侵害する場合に、その自由を制限する根拠となる考え方を何といいますか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|------------|----------|
| 1. 罪刑法定主義 | 2. 公共の福祉 | 3. 適正手続の保障 | 4. 信教の自由 |
|-----------|----------|------------|----------|